

## 「土木と市民社会をつなぐ」フォーラムの準備イメージ

段階		ステップ1 「準備会」の設立準備	ステップ2： 準備会による「フォーラム」の設立準備	ステップ3 「フォーラム」事務局による活動開始	ステップ4 「フォーラム」の活動加速
時期		～H31年5月	H31年6月（土木学会の年度初め）に 「準備会」設立後	H31年12月頃に 「フォーラム設立発表会」実施後	H32年度後半（設立1年後）
推進主体		シビル NPO 推進小委員会	フォーラム準備会	フォーラム事務局	フォーラム事務局
構成員 規模感	事務局	・小委 10 名程度 + CNCP 数名	・シビル NPO 推進小委と CNCP(事業化推進部門・企画サービス部門)を中心に、土木広報センター・教育企画人材育成委員会・建設会社・インフラ事業者等で構成。 ・15～30 人規模。	・5 チーム×4 名 = 20 名	・5 チーム×5 名 = 25 名
	メンバー & サポーター	(なし)		・50 組織・団体・個人 ・土木学会の多くの組織・委員会が参加。 ・土木学会外の様々な組織が参加。 ・参加費なし。	・100 組織・団体・個人 ・「メンバー」は参加費あり。(土木学会の委員会は無料。) ・「サポーター」は参加費なし。ポータルサイト利用不可。
	準備会・事務局の活動	・「フォーラム」「準備会」のイメージを構築し、必要な活動を検討する。 －フォーラムや準備会の具体的な活動イメージを作成し、コンセンサスを得る。 －土木学会や CNCP との連携を強化する。 －協力者の賛同を得たり、広く PR するための情報収集と開示を始める。 －準備会の参加者を募集し、準備会を立ち上げる準備をする。		【WG1:フォーラム参加の勧誘・依頼】 【WG2:情報の収集・PR・活用】 ・簡易ポータルサイトを作り、フォーラム設立のための PR 活動に利用するとともに、「土木と市民社会をつなぐフォーラム」の利用価値のイメージを見せる。 ・Facebook を運用し始めて、フォーラム設立のための PR 活動に利用するとともに、「土木と市民社会をつなぐフォーラム」の利用価値のイメージを見せる。 ※市販のグループウェアや Facebook が分かる、技術者やサポーターの参画が望まれる。(構築作業は、有償。) 【WG3:フォーラムのあり方検討】	・右の①～⑤の役割を、始められる事務局を構築。 －常時、必要に応じて対応できる担当。 －専門技術者と、常時管理する担当。 －ソフト・ハードの WEB システムや DB・ポータルサイトの導入・維持の固定費(使用料など)を確保。 －維持費的な経費は CNCP と広報センター等で、単発の調査・とりまとめ等の活動費は土木学会の委員会予算や助成金等で、対応？
活動内容		メンバー	(なし)	・委員会等の「土木と市民社会をつなぐ活動」の情報を、フォーラムに提供し、簡易ポータルサイト上で、互いに利用。 ・委員会等の「土木と市民社会をつなぐ活動」の情報を、フォーラムの Facebook 等に紹介し、学会外に広報。 ・イベント開催時に、フォーラムに参加するメンバーへの案内が可能。 ・イベント開催時に、フォーラムの「共催・後援」等の連携・協働の実施。 ・学会外の組織がイベントを開催する際に、フォーラム事務局による、土木学会の CPD 認定申請の支援が受けられる(要件あり)。	・自組織の「土木と市民社会をつなぐ活動」の情報を、フォーラムに提供し、本格ポータルサイト上で、互いに利用。 ・自組織の「土木と市民社会をつなぐ活動」の情報を、ネットニュースやフォーラムの公開 WEB や Facebook に紹介し、市民社会に広報。 ・イベント開催時に、フォーラムに参加するメンバー＆サポーターへの案内ができる。 ・フォーラム事務局により、フォーラム「共催・後援」等の連携・協働の実施。事務局による、土木学会の CPD 認定申請の支援が受けられる(要件あり)。 ・タスクフォース型の WG の立上げ提案ができ、参加できる。(フォーラムに参加する学会の委員会のいずれかの中に設置) ・フォーラム主催の有料シンポジウム等に割引で参加できる。
		サポーター	(なし)	(なし)	・組織・団体・個人共可。(フォーラムに参加しないが、情報提供をしてくれる会員。) ・ポータルサイトは利用できない。ネットニュースや公開 WEB や Facebook のみ。 ・自組織の活動情報を、フォーラムに提供して、ポータルサイトと公開 WEB に紹介する。(サポーターにとっては「してもらい場合」と「させてあげる場合」がある。)

※「ポータルサイト」とは

- ・Web 上の様々なサービスや情報を集約して簡単にアクセスできるようにまとめた、Web 利用の起点となる Web サイトのこと。ここでは「土木と市民社会をつなぐポータルサイト」となる。
- ・提供される情報やサービスはサイトの目的により異なり、ここでは、「土木と市民社会をつなぐ」活動の予定や事例・活動をしている組織・団体・個人の検索と、それらのサイトへのリンクなど、土木関係者と市民が、日常、必要としたり、あると便利な情報やサービスで構成する。
- ・土木学会とシビルの仲間が設置・運用するため、我が国のすべての「土木と市民社会をつなぐ」活動と組織・団体・個人(土木技術者やまちづくり系の学者や技術者、および市民)が、ここにつながることを目指す。